

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	大気汚染の抑制と GHG ミティゲーションの相乗効果とトレードオフ Synergies and tradeoff between air pollution control and greenhouse gas mitigation
主催	International Institute for Applied System Analysis (IIASA)
日時	2004 年 12 月 8 日(水)18 時 ~ 20 時
主要討論者	<ul style="list-style-type: none"> • Marcus Amann (IIASA) • Fabian Wagner (IIASA) • Ger Klassen (European Commission) • Frank Raes (Joint Research Centre of the European Commission)
傍聴者	約 30 人
目的	同じ発生源から生じている GHG の排出と大気汚染物質はそれぞれ、または共同で有害な影響を与えるが、それらの排出抑制戦略の費用対効果に影響を及ぼす相乗効果とトレードオフに関する近年の研究成果について紹介する。
発表の概要	<ul style="list-style-type: none"> • GAINS モデルの紹介。 • 大気汚染の抑制と GHG 排出抑制による相乗効果、ならびにトレードオフについての紹介。 • 中期的なマルチガスミティゲーション戦略による費用対効果についての研究結果の紹介。
主要な論点	<p><Fabian Wagner></p> <ul style="list-style-type: none"> • IIASA が開発した GAINS (Greenhouse gas Air Pollution Interactions and Synergies)モデルは、京都議定書で指定されている 6 ガスを減らすために国家の削減コストとポテンシャルを評価するためのツールである。 • GAINS モデルは CO₂ に関して 160 以上の実践的なミティゲーションオプションを持ち、また CH₄ は約 30、N₂O・F ガス(HFC、PFC、SF₆)それぞれに 20 のミティゲーションオプションがあり、ヨーロッパの 43 の地域で適用されている。 • Resulting cost curve は様々なガスと国々に対して全く違ったミティゲーションポテンシャルを示しており、これは各国の経済の構造的相違と政府による予想された発展経路の違いを反映している。 <p><Marcus Amann></p> <ul style="list-style-type: none"> • GAINS の分析によると、環境影響(人間の健康など)と経済(大気汚染抑制費用の削減)の両方で共にかかなりの利益を得ることができ、それらの利益は中期的に、ミティゲーション活動を行った地域で得られる。 • 化石燃料に大きく依存している経路では、安定化努力はとても費用がかかるが、non- CO₂ のミティゲーションオプションは安定化費用を削減する。 • non- CO₂ のミティゲーションは短い期間では安定化に重要な寄与をするが、長期間では CO₂ ミティゲーションは不可欠である。 • 地球の長期的安定化戦略を分析するためのモデルの利用によって、技術移転、研究開発、人口抑制だけに依存して、持続可能な開発シナリオは最小のミティゲーションで GHG 排出の安定化を成し遂げることを手助けする。 <p><Ger Klassen></p>

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

	<ul style="list-style-type: none">・ 中期的マルチガスミティゲーション戦略では、ヨーロッパで 2020 年までに達成されうる 15%の GHG 排出削減を CO₂ミティゲーションで達成すると年間約 300 億ユーロであり、それは GDP の 0.18%に相当する。・ 同量の GHG 削減を CO₂と CH₄で行うと、年間約 90 億ユーロに下がり、さらに N₂O の排出削減も加えると、年間約 60 億ユーロにまで下がると予測される。
資料	なし

文責：井上 智尊